

<p>【イベント名】 チリとの内視鏡、技術研修報告会</p>	<p>【概要】 チリ・コロンビア・コスタリカ・日本との同時セッションを自分自身でコントロールするのが初めてだったので、私にとってこの機会が重要な挑戦だった。上手く進んだのだが、ストリーミングや参加者とのやり取り、セッション最初と最後の挨拶を向上させ、練習を重ねるべきであり、これらは実際に経験を積まなければならない。最後になったが、今回のイベントはとても満足の行くものだった。ありがとうございました。</p>
<p>【期日】 2017.02.21</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（日本）、 チリ・カトリック大学（チリ）、 アレマナ病院（チリ）、 コスタ・リカ大学（コスタリカ）、 カリ・ザビエル大学（コロンビア）</p>	



報告を行うMr. Francisco (左)とDr. Luis (右)。
撮影場所：九州大学病院

モニタに映し出される5地点の様子。
撮影場所：九州大学病院

Japan: Experience of a Lifetime

Local Content

Stairway to ESD

Good Follow up
Good Skill
Correct Diagnostic
Local Content

Mr. Franciscoより提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院

Dr. Luisより提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院

World Gastroenterology Organization - Endoscopic training centers Project-

Local Content



Dr. 清水より提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院

九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院